



河
海
小
命
集

ル 4
1158
2



凡 4
1158
2

江戸砂子温故名跡誌卷之四

沾涼纂緝

豊嶋郡岐田領

① 牛込

小日向
高田

関口
市谷

雑司谷
大久保

② 四谷

同
内藤宿
鮫戸橋

大木戸
梅檀谷

多磨郡
中野

同郡
高井土

③ 赤坂

同郡府布領

青山
長者丸

渋谷
鶴ヶ谷

荏原郡
世田谷



Handwritten notes in cursive script (sōsho) covering the right page, including a large signature at the bottom right.

牛込方角



江戸名跡志

番丁 東

沾涼園

法明寺

尾山殿

大ノ木 天神

北

西

士牛込

小日向 関口 雜司谷 高田 市ヶ谷 大窪

○津久戸明神社

牛込御門乃外

別當善庵山成就院

此社の神田大の神と云はれしと云 祭日 九月十日

元の高倉の田毎ありしと云 田毎大明神と云 永享記大田乃灌

入圓部 二ヶ野の河我の城は乾子氷川大明神の中あり

それよりなる人 此城の乾子津久戸大明神を云ふあり 同

元和二年に今の津久戸ありしと云 津久戸の神乃

名ありと云 永享の元和より百年も前の事し 永享記津久

戸の神をいふと云 昔云 永享記の永享此神を云ふ

ありし事 入圓の後より書るる 津久戸の神を云ふ

いふも 田毎明神なり 又伝統云 尚社ハ将門の首をいふと云

又永享の明神ハ将門の首い津久戸ハ乾子氷川大明神ハ酒

子なる也 血木に記す 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

大明神と云 記せる書あり 永享の血首大明神ハ津久戸

松あり... 八幡大神... 建をす...

○神樂坂

牛込門のじり...

市谷八幡の祭れ... 八幡のび...

○色坂

色坂の池... 色坂の末

古き物... 色坂の池... 色坂の末... 色坂の末... 色坂の末...

○船河原

船河原... 船河原の...

○堀魚の井

堀魚の井... 堀魚の井...

枕草子井、海老名のお 准武蔵守有 又多摩郡中野町之

あるものをもとに 又多摩郡中野町之 北村東巴

○依基橋 信にんご橋 江戸川の底に

松平陸奥守殿所茶室の傍にありて、江戸の町をさし、世に

○板屋の洞 どんと何の洞に

江戸にせしき姑婦とて此洞をわたりて死せり、世に

○立慶橋 江戸川にありて、文橋をたふし、慶長にありて

○御殿の 津久とんどのあを

江戸に小川の流世の対はとをむきとて、世に

○津浦橋 ありのあ

江戸にけのあ、江戸にき、ああり、ゆのあ、しとあ、

△世に、奥平、浪人、江戸に、奥平、江戸に、あ、あ、あ、

△世に、奥平、浪人、江戸に、奥平、江戸に、あ、あ、あ、

△世に、奥平、浪人、江戸に、奥平、江戸に、あ、あ、あ、

△世に、奥平、浪人、江戸に、奥平、江戸に、あ、あ、あ、

△世に、奥平、浪人、江戸に、奥平、江戸に、あ、あ、あ、

まへからその日浦のりる時台と七姓外の人尼おきると
その後八の紀傳著しは修多の大成なるをいしを
かきよきし清くは坂のたてらぬもそのしらさるれあり
はくはくは物先ありし

○行人坂 信子ゆきま坂 かく坂のさし西の坂

○馬走る場 ああ坂のくむじう馬場ありし今もまじりし

○若宮八幡宮 小坂のへん 別当光明寺普門院

山列男心いおゆ 又仁徳天皇を奉りまると云和漢三才圖會云
文治又年の秋源杉野奥列泰衡近治の時高和ありの
後建之ありしと云高社いふ所のたすくは大神ありて建
りしありしと云奉りたる

○市云湯河原 牛込湯河原の介し足利市兼友中
あるゆきよしと云 かく坂 かく坂と云し湯の石

○大友の松 牛込天神町 氏家のうけいし大友松ありし
草芥薬師 葉菰山光寺寺正院 上野末 牛込

用山香觀律師 太田左衛門建直 政住雄枝法師

河右平河梅林坊ありしと云後田毎元和の源今のおきりし
高寺ありしと云梅林ありしと云葉菰ありしと云かく香觀
一佛をありしと云これい台祖傳教大師一カこれの葉原佛
ありしと云これいてやいぬ香觀長祿年中に一やを道之
と云太田左衛門上校坊無甚きと云ありしと云牛王八室印を室
殿ありしと云これいぬと云牛王八室あり

○赤城明神社 牛込 上野末天台 別当赤權山寺貴寺

上野国赤城之三夜澤神を勧請しありしと云上野の必に
大胡常陸と云人あり赤城をふく信し大胡へ勧請し
進上明神として今いあり高社いその大胡常陸八末祿
牛込左衛門と云人足祖の信仰ありしと云上野の
中をありしと云牛込の邊ありしと云又蛭蛇を高社に勧請し
日光山宮ま云下野國二荒山今日光書上野國赤城之乃

沖の中の湖十禪寺を祀る二雲の神ハ蛇ハ蟠ハ蔵赤城の
 神ハ蜈蚣ハ息をあらりニたらずハあり蜈蚣ハ神使リ方ノ个
 赤キ神ノ子ノありル 祭レ九月十九日隔年シ 当社旧地ハ
 牛込河門ノ内ニ赤倉家ノ中ニあり今昔方ノ古本ノ後方あり高橋
 神本ハ云火社牛込河元寺ノ社守ト云レ元寺ビ一ノ惣付いし也

○牛込氏ノ墓 宗泰寺ニあり

其墓碣ハ大胡太郎ノ室後ノ裔ニ少輔行玄列牛込
 乃縣子位一ニ其後勝行ノ代ハ小糸氏康ニ属シ其後之
 名ヲ小氏一レ今河幕下牛込家ノ支祖なり云

○氷川社 上あり云云 赤崎 氷川ノ邊にありワノ末

○金剛寺坂 史あり云云禪あり云云 杉町井天ノ末云

○新坂 又切寺人坊ニ云小日向上水ノ云云 号蓮基山

○服部坂 新坂ノ邊ニあり惠中和尚旧於西禪菴ト云云

○江戸川 上水ノ吐あり云園口ノ大穴堰はくワノ邊にあり

○目白不動堂 東豊山新長谷寺 真言 関口

中興用基長谷妙音院小池坊秀華僧正
 元和四年再興し

○袈裟掛ノ楼 本堂ノ前あり

縁記曰云高寺ノ野別足利何某ノ為あり其後其事あり云
 玄列を禱郡一園口ノ住人松村氏も其思ありなり云
 其後其事あり云 其後其事あり云 其後其事あり云
 其後其事あり云 其後其事あり云 其後其事あり云

○不動坂 寺所あり云云云

○掃部橋 寺所あり云云云

○八幡宮 竜泉山洞雲寺指 芙蓉流 国口

上ノ宮と云国口の傍也 国山獨港禪所 中真石平和尚用基

○椿山八幡宮 右門寺指 竜泉菴あり

下宮と云祭礼上ノ下隔年あり 出祭椿の多ありしを多あり 水神社 日傍也

○胸突坂 杉木のき 龍坂 多田町七丁ノ内

○大洗堰 目白のありと赤の大堰し

○上水 水原に猪鹿池より流る至く清雲に於て早懸に生淵

船水舟り此玉川に河越のさゆる多麻郡へなるまで大河し

多麻郡の川に玉川に流る未だ六丁に於て矢も流るは川なり 日中六玉川の間に於てなるを玉川とて玉川點い川の多稱し

拾遺集 玉川に於てなるを玉川とて玉川點い川の多稱し

○禪宗 佛閣 牛込 小日向

○蒼龍山松源寺 妙心寺末 江戸四ヶ寺の内 一代紫衣 牛込

同山靈鑑普照禪所 名宗五字蓬山信長乃蓮山と云 源住七世名惟庸高

信に猶と云々 寺領三百五石 板所

○蔭涼山漸松寺 日末 寺領三百五石

同山水南和尚 同基祖心禪尼は門下又孫の末大友氏住居の地と

御佛殿 廿日 別當 寺方心院 寺領二百石

△鳳凰池 湯島分の首あり 同山塔 類春院

△靈龜泉 堀内あり

塔以 実性院 法隆院 真光院 慈光院

○龍峰山保善寺 甲州 東林院末 高 臨川山宗徳寺 濟松寺末 中里

塔以 蓮花院 寺領二百石

○正覚山月桂寺

徳金園是寺未

寺傾百石

川田の窪

高寺の元一ヶ谷にありて平岳寺と云へて連門の海の西にありて未喜連門の法編女月桂院禪尼八十八本に於て勸修堂ありて高寺に葬一ルルなり月桂寺と云へて塔院 松竹菴 臥竜菴

○天 山口 宗 佛 閣

○観音堂

俗襟興心觀音

牛頭山千牛院行元寺

上野未

寺傾百石

看所

○岡山慈光大師

おさきの子觀音 慈心外源彰却公坊佛

此寺、大寺に似て然門の年四河門の月から坂の中門の元をたて南天、並木をし俗に南天と云へり、志願有林ハ高寺の鐘のなり、その願を細の大般ろ今にあり、その行を法苑記ありしと、大水のそ礼の堂塔破壞し、うと

○岡麻呂堂

高藤公親善院平川寺

上野未

寺傾

○高稚山之光院

上野未

○宝樹山泉菴院

上野未

○東照山宝菴院

日未

まき寺

○松雲山宝菴寺

日未

日未

○善竜之威徳院

日未

まき寺

○福荷山長壽院

行多末

法所

○宝光之正智院

日未

小日向

浄土宗佛閣

○樹王山光照寺

増末

まき寺

○光明之大聖寺

知恩末

まき寺

○不退山正定院

日未

まき寺

○一心山専念寺

徳通末

まき寺

○金剛山大信寺

日未

まき寺

○護念之宗多寺

安樂寺未

折所

○栄松之法正寺

日未

まき寺

○光明之智教寺

知恩末

小日向

○中野之聖壽寺

日未

小日向

○安樂山還國寺

日未

法所

○宝国山大泉寺

日未

山口

○法樹山親国寺

日未

山口

○玉樹山良念寺

法所末

小日向

法華宗 佛閣

- 本光の清浄寺 中宗 赤坂 ○長久山妙泉寺 玉辰末 吉田
- 松葉の大法寺 小湊末 上野 ○長久山岩立寺 平賀末 赤野
- 常泉寺 日未 系所 ○正宗の佛性寺 中宗 吉野
- 一樹の宗柏寺 ^系頂末末 上野 ○妙法の香福寺 日未 牛込
- 正定の幸園寺 小湊末 七高 ○常葉の淨輪寺 比末 七高所
- 日縁の長光寺 日未 小日向 ○如意の亮朝寺 身延末 夕つ
- 万年山の輪寺 五葉の園末 吉田 ○長久の古松寺 玉辰末 吉田
- 古の山威通寺 小湊末 吉田 ○正玄の妙照寺 ^系妙末末 夕つ
- 福徳の蓮光寺 ^系古末末 川田末 ○長遠の正法寺 日未 日未
- 妙法の蓮光寺 小湊末 上野末 ○上行の久成寺 ^系上野末 川田末
- 泉光の蓮花寺 吉士小山末 寺願三千石 関口

真言宗

神歌山護国寺

寺願千石云

本寺馬腦石如意輪觀音唐佛 元禄年中本堂が建たれり本
 の中堂の基のそと當り今もあり此の如く本堂をく清建三河白合へ
 行やるといかりし

熊波の護持院

寺願千五百石

根元は熊波の和是院の宿寺

如く和是院は岩井町にありと云縁年中所建たれり神田の
 外へくるとい保のけし西縁は高下保のまゝあり

- 玄令の湯波寺 上野末 牛込 ○响玉山西照院 室伝末 牛込
- 稲荷山茶王院 日 川原 ○清水の古教寺 日 小日向
- 三明の千手院 ^系末末 寺願末 寺願末 ○蓮花の金葉院 日 吉田
- 一向宗
- 信久寺 東 上野 ○太子山竜善寺 東 吉田
- 分庵の孝教寺 日 山伏下 ○高深山本法寺 日 小日向
- 神名寺 西 上原

○雜司谷

○威光の法明寺

法花宗 寺領十石

日源上人用基

尚寺根元天名宗子て用基是定大所をて

日源上人孫列

志本とらふふて日蓮上人子孫子

△日蓮上人の沙影

鎌倉式アの持信都乃化

○鬼子母神

塔江東湯坊の物

○六老僧の寺

東湯坊

法明寺世中

六老僧の沙影あり 各日蓮上人の沙影なり

六老僧ハ

辨阿因梨

玉泉 日照

白蓮阿因梨

富士 日興

大因阿因梨

池上 日朗

伊豫阿因梨

真南 日順

長都阿因梨

茂系 日向

蓮華阿因梨

真北 日持

中 老十八人

日源

日家

日傳

日法

天目

日位

日常

日保

日秀

日祐

日得

日弁

日合

日礼

日賢

日忍

日門

日高

六老僧 中老僧もも日蓮上人の沙影なり

○九老僧寺

日新

本能寺

日朗上人の弟子

日印

日輪

日善

日傳

日範

日證

日像

日行

朗慶

○御蘇

為王持現

法明寺物

おきつゝまのり

○経巻川

法明寺前の細い川を云

○星源清水

後必寺に報元首の四の中一層ありあり

星流自鬼子母出現の事あり

経巻川の流の事あり

おもむきよげふの星くらぐらぐらとてし里人あやしくその雨をとり
ひらきよむす母津の傍ありしとてし後日照晴けふくうつこく云

○鬼子母津の茶 茶屋ありそもの名物し

雑司谷

星跡清水

御嶽夜雪

安見橋鷺

慈春川堂

八境

威光山花

三島神籬

鼠山木玉

池園谷月

○嵐山

○池ヶ谷

ととよ長傳村のうらなり

○三徳神木

高田の方上水川のもろ大根に注連つけてありはらる

○高田

○戸塚

高田の東し古麻子云昆汝門の具着にありて古木の傍に
しる下をたふとて古き塚あり白狐をひきくくしとて戸塚と云

とありとてとせぬ注し狐塚と云り黒人の云宝家寺の塚のまじし

○姿見橋

又推掛橋

高田赤川のまじり 長十二百四尺

○高田馬場

場不度し大い修し

○落合

三昧あり

○穴八幡社

高田戸塚村

別當光松山放生寺

ひししとていふなりしとて里人伝つてしとていふなりしとて
のりり実永十二年にわろく流石大將松平親元居の空次乃
よかの入道ありしとての御名ありしとて弓矢の神なりしとて八幡を
勧請せんとて修せしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
よあしとて是八幡を納すしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
とていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
十八年己酉陽明山口八幡氏人良昌信都の毛利家の長に
て榎本の何事ありしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
所業園の主にやとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
舎下にありしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
ひしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
宜ありしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて
とていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとていふなりしとて

今も此寺に穴八幡と云ふの穴今にありあるの勝なりきん
きりる里つるを石清水の名をかしきりしなりとをせぬり
結まるとや神一太社にたきり
清もあふを石清水堂とてひつてふてふりかたをせしむる人
今にありありとて石清水の穴八幡の本社たてて尋ねる人
あるしかりしなり

△光り松 神燈のあそびに二とよみおをり
△放生池 八幡のあそびの池を云

○昆汝門堂 高田うね ^{大台} 禪英の宝泉寺 上赤木

本寺のいそえ大所の北田原香所の寺佛しし云

△高田鶴荷は 坂内あり

文龜元年と云はれは友良良友ありし勸修寺と云

え縁十又年の四月と云想あり根の控より水瀬と云はれは自と
やじのありありしと云の縁あり今にけしきあり

△午と蛇のね 北あり 昆汝門堂の寺あり

△新堀が池 坂内あり

寒凍のころ赤猪の帝 池の名を尋せせあり今もあつたり

△富 正五九月廿日 久しき富の池なり

△高取郭と云の名あり 池ありをせしめて

村ありがしれ終に川とて池ありしなり 遺佚

○三國傳本觀音 淨土 雨室山西方寺 増上末 高田

用山亭と云貞義和尚 現任九世相誓上人

高寺子手觀音の弘法大師入唐の時唐青龍寺惠果和尚申天皇
乃其像しとて極り高野大塔におよびあり 實永年以來に

高野の林に流水とて真言波門あり大師流傳より一池あり
あり人衆も流水波門とての願文列流傳のまよありしなり

ありしなりとての願文貞義に授くしなり高寺の寺佛なり

○五智如来

浄土

龜鶴山誓願寺

天岸末

高田

用山本食を養上人誓願和尚

伏任五世玄化和尚

本食誓願自化 五智の大佛なり

△三つぬがうり 本堂の首より夫木を五板あり愚毒復後以の末
ハ高寺の権越し在羊の頂さうとと一とを極高うりて燈りと
智心とく編集の頃高寺よりしてせうくのゆくと味もあうり
くをくくあつるひ様の心をやまひなりとてかたの礼子も
のねさうり口おしく又名僧よりんきりもとてあつるあり
さうとてまめて尋ぬとてその名のきりぬさうとてりてあつて
名のあつるのをし

知しぬとんさうとてあつるは教へあり

雀下菴活涼

おゆりたつとてあつる人

今いふをさうとてりてさうとてりてのを

笠井魚路

信のかしん佛の教へなり

ホ乃はらうりぬい佛乃名付教

栗本雪朝

○高田天神宮 別當真言 天童山真定院

中野 宝仙寺末 三亩

小野神社し牛の天神所の高社の四使なり

○三落馬地藏 石仏し 浄土 光明山大娘寺

知恩末 三亩

○紫雲山来迎寺 浄土 永劫山建勝寺

日末 日

○浄国山清涼寺 日 十劫山宗源寺

日末 日

○市谷 大窪

○八幡宮 別當稲嶺山東園寺 真言 無量院末 田町上

神狩ハ馬上甲冑の形 神切皇后比咩神相殿なり

文明羊中 太田石権持資 江城北軒 相列鶴岡八幡

を勧法し江城推遷の基として東秀寺建く神宮別

當 一ハを稲嶺とす一ハ稲嶺大明神住古より稲嶺

ありし大永羊中の昔乱に破壊され後慶安のころに

江戸城清宮真の時別高堂源昌運らうりて一ハを稲嶺

羊を歴く累代の壮観に復す

△茶木箱荷社 境内鳥井のまきこはかり 当山の世美し

信後日高子白狐ありあやうく茶の末をて目をくらさうりあ
て茶をいびくし此神の氏子正月にその日の内今茶をのりた
又目をくらさうりの一七日二七日茶をくらさうり影ひあせす
すうり海ありくらさうり信今そのまきこ

○毫敬福荷社 別當清雲山無本寺教藏院 真言 田町上

元市谷八幡列 高の物くしうり茶木箱荷社をすうりくらさ
八幡列ありあやうくこの野をを量院（属）今くらさうり
当院の前のまきこすうり影ひあせす 当社をかろ福荷と云
度長年中進江屋助せと云其の娘三平三浦江で縁組かたを
悲しく別れをすうりくらさうり今くらさうり

○左内坂 一谷御門乃びびり小の坂を云

高木のまきこ徳田左内乃びびり小の坂を云

○甲良屋安 左内坂のまきこ ○被宿坂 本村まきこ

○浄泉寺谷 左内坂を云り又市谷谷て浄泉寺と云ちあり

ひあやうく大まきこ白蛇ありてその降ありあやうく

まのまきこまきこにありて度長の頭すてあり

尾湯平 一のまきこ

○小栗原 本村松平松津もあやうり

○合羽坂 日下松平松津もあやうり

○念佛坂 日下谷所をのり白坂 ○やうり谷 町あり谷を

○まきこ谷 町あり町あり ○清づる所 町あり町あり

○くらり坂 日下まきこ ○山伏町 高山まきこ

○太神宮 山伏町法花勸法社の社

○西根来 ○東根来 日下まきこ

○七面社 法花 春時山法善寺 地来 大りホ

境内まきこまきこまきこまきこまきこまきこまきこまきこ
まきこまきこまきこまきこまきこまきこまきこまきこ

○大久保天満宮 聖護院末 別當梅松山立大寺寺大聖院 今未

北野日社に神狛、東常の神形、一名^{あつ}天神と云々、由縁
又西向天神と云々は社檀西向なり、火の宿緒、延喜八年六月
後醍醐帝安貞、羊中、唯惠上人、勸化の地、大信於云信中、無
多別當大寺、院ハ、聖護院、所^つ、初^ま末^は天名宗、正天、是^も、建^り
寺、門^の、江^り、戸^を、修^し、し、前^に、列^を、あ^ら、む、松^の、緑^の、山^の、梅^の、香^の、院^と、す^べ
大久保の法寺、祭礼九月廿五日、滿年、七面の社、の、垣^を、あ^ら
内^の、境^の、の、中^に、一^つ、派^の、の^り、頭^を、遊^び、観^望、す^べ、と、云^ふ、東^の、敷^を、云^ふ
○大宮注指荷社 別當二尊院 七面東所^の、屋^を
井才天と相傳ふ

○諸宗 佛閣 市谷 大座

○七宝山尊王寺 其築末 寺^の、北^に、百^石 市谷^の、^の、所^に

尚^の、寺^に、ハ、元^の、真^言、言^宗、^に、退^き、精^進、す^べ、と、云^ふ、菴^を、か^り、り^し、を^し、縁^の、頭^を、築^末
流^の、湊^の、雲^の、和^の、尚^の、中^の、真^言、言^宗、^に、依^り、て、教^を、弘^め、し、江^り、府^に、十^八、菴^を、あ^ら、む、頭^を、名^を、寺^と、成^す
寺^に、ハ、神^の、帳^を、あ^ら、む、お^も、い^は、す^べ、と、云^ふ、中^の、法^を、弘^め、し、今^の、法^の、式^を、も^つ、り^し

○清光山林泉院安親寺 淨土 知恩末 谷町 女巻^の、坂^に

開^心、蓮^社、深^養、寺^に、八^員、云^ふ、天^正、二^甲、戌^記、立^す、此^往、天^蓮、社^に、奉^養、大^貫、如^禪
菴^を、建^つ、一^つ、各^の、願^を、あ^ら、む、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
小^の、窟^を、あ^ら、む、深^養、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
深^養、寺^の、云^ふ、此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
御^入、國^の、公^の、後^に、所^の、巡^行、の^の、帝^に、御^牌、を^し、り^し

此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
小^の、窟^を、あ^ら、む、深^養、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
深^養、寺^の、云^ふ、此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
御^入、國^の、公^の、後^に、所^の、巡^行、の^の、帝^に、御^牌、を^し、り^し

此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
小^の、窟^を、あ^ら、む、深^養、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
深^養、寺^の、云^ふ、此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
御^入、國^の、公^の、後^に、所^の、巡^行、の^の、帝^に、御^牌、を^し、り^し

此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
小^の、窟^を、あ^ら、む、深^養、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
深^養、寺^の、云^ふ、此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
御^入、國^の、公^の、後^に、所^の、巡^行、の^の、帝^に、御^牌、を^し、り^し

此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
小^の、窟^を、あ^ら、む、深^養、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
深^養、寺^の、云^ふ、此^の、寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
寺^に、ハ、尺^を、敷^き、し^今、尾^列、所^の、館^の、海^の、内^に
御^入、國^の、公^の、後^に、所^の、巡^行、の^の、帝^に、御^牌、を^し、り^し

を新中よりより遠きその民之國を宗とて新治世を
ありしより久く伝はしその苦ありて大災をすめりしと
△八幡宮像 雲列の城主尼子修久が經久城を治る

△月八幡宮地佛の海泡寺外 定知此 治各々等 勅命は乃ち造之
その後月輪御下無事との家ありしやありて尼子經久の治る八幡宮
奉仕佛となすなり 八幡宮に 本佛極絶 尼子氏系傳 東より又天子尼

△河津院佛 立像三入寺 惠心の心 未真如堂の如本と河津に
天長年中 惠光大師江列 苗裔本有佛より 惠本を海泡寺外と
よびらるあり并刻子本あり佛出ありりり本一河津院を佛刻
あり是日吉念佛堂の中よりしゆり二河津院の中よりしゆり本有
年を經く惠心傍如に惠感をうけりしや傳本に刻あり

△川橋海泡 惠心の心 法性寺法光伝 傳是法が本寺
△地蔵菩薩 定知此 海陽壬生の河本河津
△并立天赤十童子 江江大陣傳六万九の河津を公蓮立

△海照徳壽 御二石中一の是の惠るる尼子に傳傳ありしや高し
△口称山徑音寺 池土 西邊泉 一谷 〇專念寺 智恩院未 大リホ

〇蓮沼山惠光寺 法花宗 玉沢未寺既 一谷系所
寺中 栄昌院 親澄院

〇久保山蓮秀寺 玉沢末 寺前 〇蓮花山妙典寺 山前寺未 寺前

〇大桑山徑王寺 平賀末 寺前 〇加波山修行寺 平賀末 寺前

〇白鳥山善養寺 一向宗 一面東 寺前 〇滋法寺 一面東 寺前

〇長嶺寺 禪宗 同宗 寺前 〇光雲山淨栄寺 同西 寺前

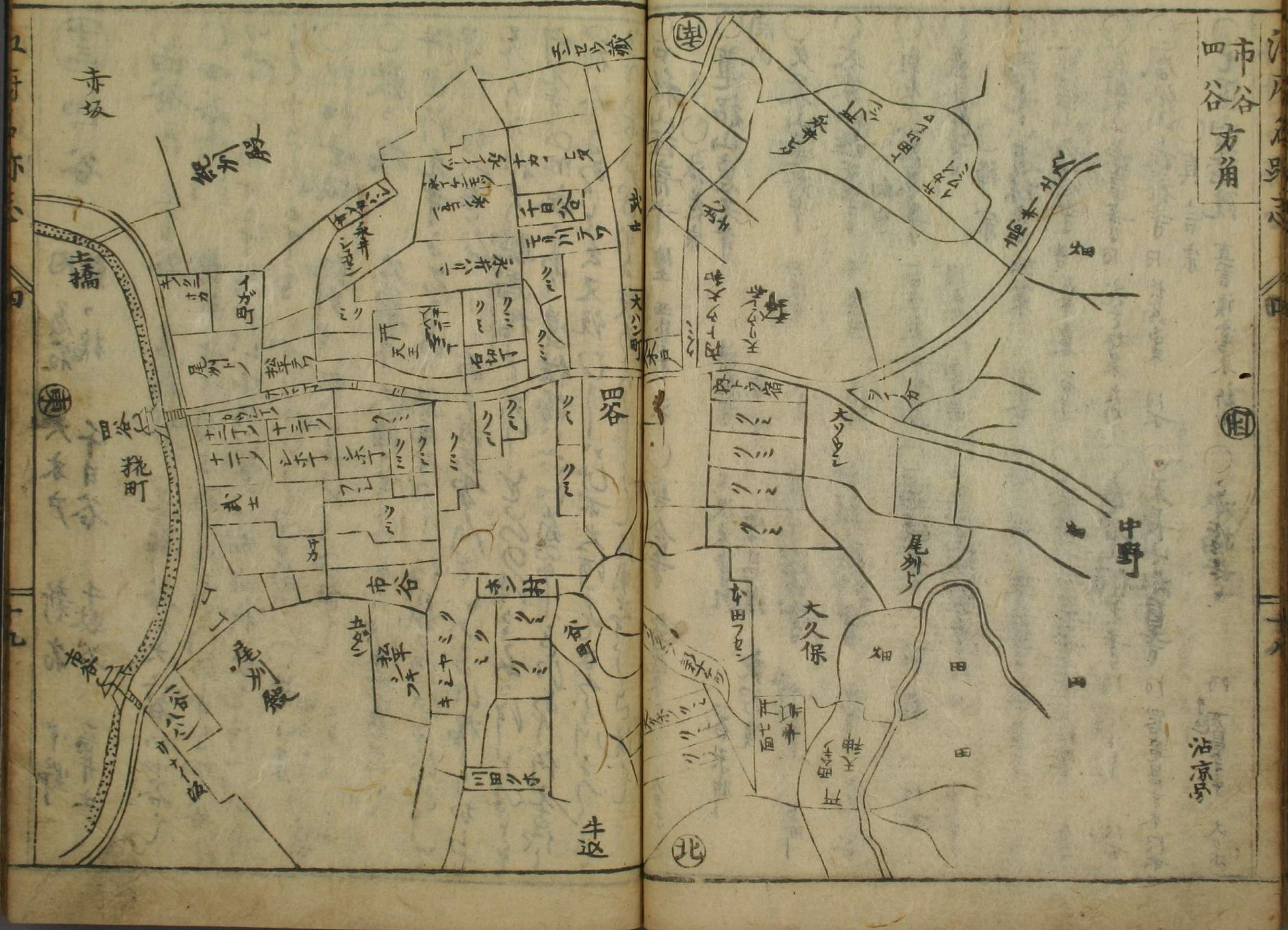
〇瑞光山道林寺 独心末 一谷 〇万亀山東長寺 勝血寺末

〇万昌山長延寺 曹長集 寺前 〇永昌山宗泰寺 曹長松院末 寺前
〇龜裂山長音寺 小松松末 寺前 〇竜谷山洞寺 寺前 寺前
〇鳳仙山長養寺 同長松末 寺前 〇天長山永昌寺 同容竜昌寺末 寺前

〇七里山光法院 真言後密宗 新所 〇永福寺 同寺前 寺前

〇真言宗

市谷方角
四谷



赤坂

尾野

土橋

尾野

尾野

五丁

四谷

牛返

北

北

中野

市谷

十三 四谷 内宿 大木戸 新宿 中野 駿橋 千日谷 千駄谷 高井土

○四谷云々。千日谷。名荷谷。千駄谷。大上谷の四谷也

○四谷所門 物所十丁目ありは沙門の所を四谷と

し十一丁目十二丁目いげふ沙門の時代地を沙門の所

とてりされ之をいふ四谷のこらあり ○牛小座

○紀伊屋敷 紀伊沙館の所の敷也 四谷の市谷の所

○駿橋 大の坂下大海より今いげふ所あり

牛の所元寺より名あり駿馬なりは所蔵の借はるはれりて

曼供塚へむびしあり村あり今いげふ所あり

死よりされり駿馬橋とてりし所の所あり

行元寺の四記あり曼供塚の所にあり行元寺の

の碑今ありと云又説じいげふ大河とてさく川より

○牛頭天王社 四谷 別當 箱荷山宝藏院

山列祇園神社 日本紀纂疏曰山城国愛宕郡祇園社

則進雄神之化迹也凡有三座一牛頭天王又名

曰武谷天神 諸社根元記 中間牛頭天王素戔鳴尊

垂跡東間八王子五男三女西間箱田姫本御前

祇園縁記云天竺北有国名九相其国有国名吉祥其

園中有城城中有王名牛頭天王又名武谷天神娶

婆娑竭羅龍王女為后生八王子其眷屬八万四千

六百五十四神 神考 素戔鳴唐の牛頭天王又武谷天

神より天竺の金毘羅神又摩訶訶羅神といふ

△御旅所 四谷石切所 毎年六月はあふ所假名云々

六月十八日より月正一日まで遷居あり 祭礼六月十日 隔年

△箱荷社 堀内ありは中より神ありは遷居あり世人

○怒系 天王の甲らるるき びり けり子怒の元中 さいありしを

○千日谷 かき系のあるる方 ○夫婦坂 けり系のあるる

○信濃系 千日谷の系永井伝法も伝中 さいありしを 信濃系永井堂の

○大木戸 大木戸と申す 高井土中中河也

○御言葉松 内及高の松内及高松ありし内はあり

○千駄ヶ谷 びり 一向の松をいり 一日に千駄の松の堂の如く

とて今いふと申す 寺也なり

○八幡宮 千駄ヶ谷 別當高雲山瑞雲寺 曹洞宗 法泉寺末

本世の瑞雲 千分 本心信松の元 神領所朱印八石八分

△龍掛松 門前大木のねわり 実かの源清を野の節 山登此松は

祭日 九月廿七日

○観音堂 日下 観谷山聖輪寺 真言 和列 長谷末

開山行基菩薩 存する如意神所自心

眼玉の散まりしを 賊ありし 本世の玉眼昔金方りしを

○慈女の松 日下 高糴山弁光寺 天台 東蔵山末

此の松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

乃の時 此の松をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

とて 此の松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

御と申す 此の松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

この松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

中世も月介ありし 此の松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

く此の松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

とて 此の松の形をいふ 此の奥列海たりし 一向の系なりしを

浮菰河にせしむる如く日連をたぐりし元禄年中天宮に於る
台宗圓基自他院の大僧都兼雄作兼常也 現任賢道

○音喜提 日本一海防の元金の餘給してうらみのる

○元端硝子産 日本 今の地を元の西にあり

○太神宮 日本 神主小川齋宮

一方のそらをとりしむる神を村をいしてしき事七

きり元外に富土乃根とてしむる世に神靈に中

に太神宮のありしむる情の地内に祠を建てしむる

○旗ヶ谷 日本 木の村の名を云 新名ありしむる

○高井土 八王子海なる所の名なり 日本 三里半

○新名 日本 三里 日本 三里半

○新名 日本 三里 日本 三里半

○追分 新名の人を井土と申す人の追分

○策の井 追分の人松平格はもなりしむるのありしむる

え糸の流し物の命とれよ名ありしむるのありしむる

○大田川 新名乃まされし 日本 三里半

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○牛窪 狼谷の内 日本 三里半

○新名 日本 三里 日本 三里半

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

○大上谷 又狼谷也 新名の人を狼谷と申す人の追分

とてつとく大馬の極と云ふはつちかた子取の柳本村の如く之
トの柳本大馬のよちらあかきあたうと云ふありはらむりとの後
柳本大馬のあつた子と云ふはつちかた子取の極と云ふはつち
又柳本の墓と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極
か 一馬のあつた子と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極

○流橋 ちかた子取の中堂のりあり ○沙干の里

又面影の橋 姿不見橋 姿橋と云 大馬の足

寛永の江戸参り傳の市 流橋と云ひつと 上巻あり流橋と云
ひつと多摩郡 定中の心正觀寺の茶室の棟に朝日長者
日連の書と云ふは漆 千盃朱千盃黄金千盃銀千盃
朝日長者の書と云ふは漆 千盃朱千盃黄金千盃銀千盃
下巻ありと云ふは漆 千盃朱千盃黄金千盃銀千盃
と云ふは漆 千盃朱千盃黄金千盃銀千盃
さつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極
○蔵子 尚志兼丸のり物と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極

○中野 ちかた子取の中堂のりあり

○中野の橋 宝伝寺と云ふ真言ありと云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極

ちかた子取の橋あり ○般若の里 川左宿の末

○代々本野 中野の足と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極

ちかた子取の橋あり ○般若の里 川左宿の末

○蕪掛松 代々本野のり 兼保二年五月八幡太郎義家奥列

武衛征伐の時為す陣旅ある父義家入道死すのち若水弁七ヶ日
代々本野の蕪掛ありその河苦毛と云馬をけりしはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極
と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極
と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極

○武藏野 ちかた子取のり 兼保二年五月八幡太郎義家奥列

と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極と云ふはつちかた子取の極
又季經乃りあり
ひつと多摩郡 定中の心正觀寺の茶室の棟に朝日長者

その頃の縁ふのあし〜今の大小の島とてら都のやを

○遊水 ひびきののちあひひきあり

奏 あつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

の〜さるるあつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

て〜さるるあつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

あつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

○小千差原 新田義貞湯余場と古武場し

○井の沢池 中野 洋土宗 善福寺

の〜さるるあつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

あつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

あつらゆきありといふさあけぬのほむかすも世とこそ

○天台宗

○鎮護山常融寺自證院 上野末 寺領三百石

紀州所菩提所 寺領三百石所奇跡

△蜘蛛乃井 境川いあり

此一本に穴ありその穴より涌みし毒あり〜飲者死す〜

乃亦の山徳なりけり... 本堂の... 千代姫君... 故ありて万治...

○朝日薬作 光明山真福寺 上野末 小町

○妙喜山延秀院 上野末 小町 ○常通山安善寺 自化末 小町

○醫王山安永寺 日 小町 ○地福院 自化末 日

○禪宗 佛圖

○笹寺 心谷山長善寺 本列は富ら末 四谷

志寺を... 小世徳... 雄峰山全勝寺 常泉寺末 信子 ○川雲山竜昌寺 青松末 四谷

○泰為山全長寺 全勝末 信子 ○宝林山類心寺 竜昌末 信子

○全徳寺 日末 日 ○情庵山永心寺 日末 小町

○似王山竜泉寺 日末 信子 ○梅庵山陽光寺 日末 小町

○法輪山勝真寺 東作院末 日 ○宝蔵山龍谷寺 日末 小町

○雲龍山松巖寺 妙心末 日 ○久翁山榮昌寺 妙心末 小町

○日照山宗福寺 勝真末 日 ○放光山竜潭寺 妙心末 小町

○大覚山秀應寺 黄檗派 山列浄住寺末 小町

○護本山天龍寺 寂照寺中大悲院末 用山春屋和尚 小町

○一里塚 大臺古のりの大板 小町

○子安編所 別当三光院 益部

○浄土宗佛閣

○専称山西念寺 西福寺末 ○永固山一行院 淨寺末

寺中 崇院 信壽院 ○栄孤山香蓮寺 灵澤末

○白岩山宗源寺 知恩末 ○涼雲山西蓮寺 増上末

○増光山淨蓮寺 日未 ○明子山正史寺 日未

○深谷山長安寺 日未 ○十初山成美寺 日未

○霞関山大宗寺 増上末 四谷

当寺元末あり関あり△六地藏 二番目 汐門正元坊建立

○真言宗佛閣

○汐千観音 錦敬山海槩寺真成院 宝仙寺末

関山清心法印

義清寺原村と其部入乃道乐斎ハ真列系派あり一ガ
大坂沙陣と云々のつらつらなるあり高寺用之法心法印ハ其の
師と云ひつらつらなるあり高寺ハ萬々後乃乃沙家ハ出物
そのつらつらなるあり高寺ハ其のつらつらなるあり

○十股山毛深院 護持院末 ○金剛山顯性寺 宝仙寺末

○雲竜山安慈院 日未 ○東向山蓮花院 根生院末

○阿詳山東福院 日未

○法花宗佛閣

○效典山戒所寺 身延末 百寺所

関山

寺中 免院 本寺坊 中ノ坊 海神坊

△此寺の敷をうへる

○長明之法善寺

小湊

長

○法真山理性寺

大木戸

○天有山正通寺

日

日

○妙福寺

四谷

○高見山日宗寺

日

白草

○稻荷山妙行寺

身延

天王丁

○宝勝寺通寺

日

乙草

○妙性山正覺寺

日

廿方三

○平善寺

本寺

白草

○正妙之法恩寺

本寺

日

○壽量宗源寺

本寺

白草

○微妙之法恩寺

池上

今井

○一向宗佛閣

四谷

白草

○西應寺

東

白草

○真英寺

日

日

○源慶寺

日

日

○正應寺

日

日

○西應寺

東

白草

○法雲寺

東

白草

○西應寺

東

白草

○真英寺

日

日

○源慶寺

日

日

○正應寺

日

日

○源慶寺

日

日

○正應寺

日

日

○源慶寺

日

日

十四 赤坂

今井 長者丸

青山

淡谷

世田

○赤坂庄

風土記

荏原

今井

赤坂川

○穀三而六十九束三毛田

假粟二百二十元

貢麥稗又貢鶴鴒

○氷川社

小六宮

聖後院流

別當大衆院

風土記 赤坂庄小六天神

或古呂故

圭田三十九束三毛田

天武天皇三年甲戌十一月始行神祀有神戶巫戸巫祭

大己貴与少彥名園韓神也号小六者以古呂故岡名也

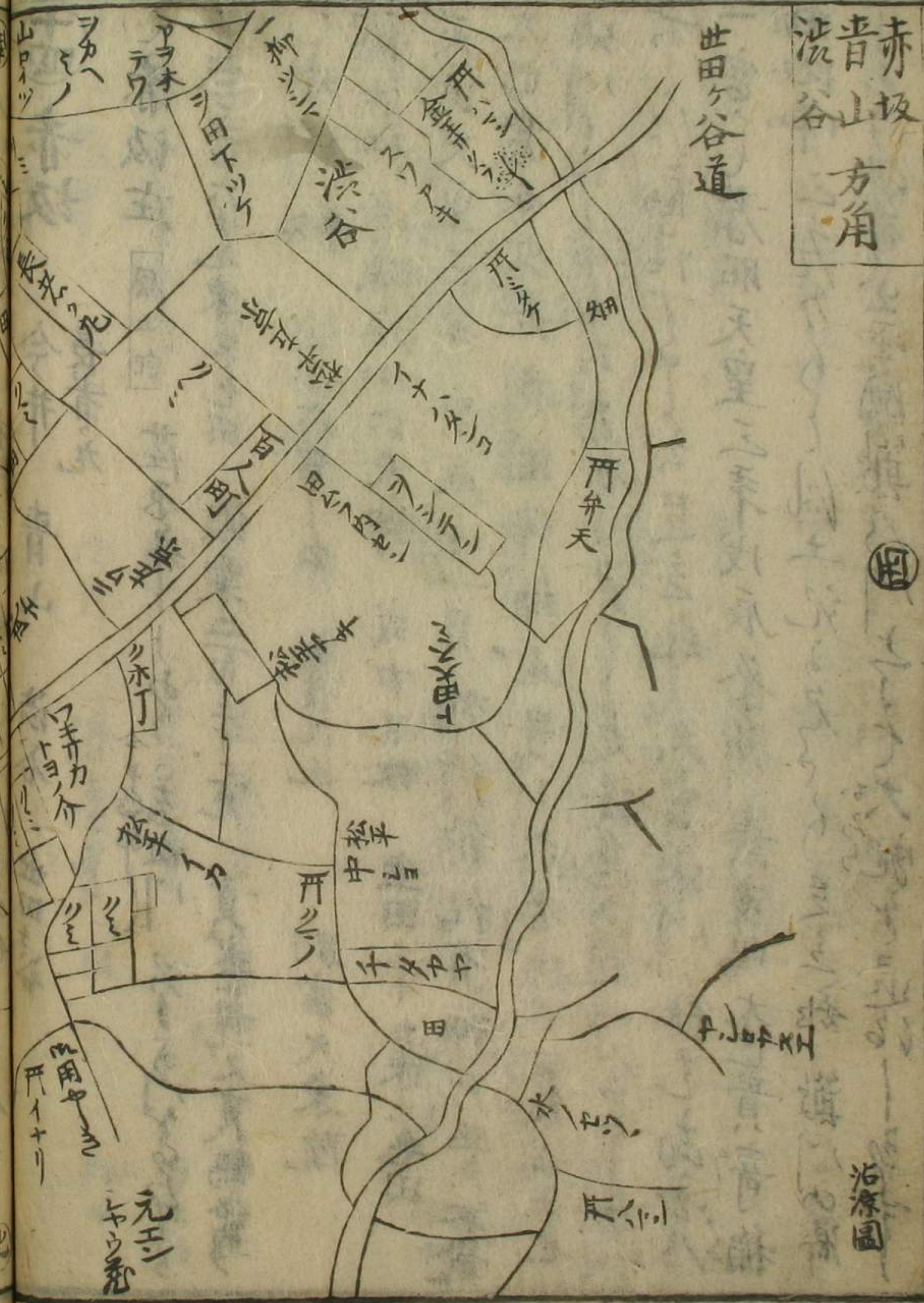
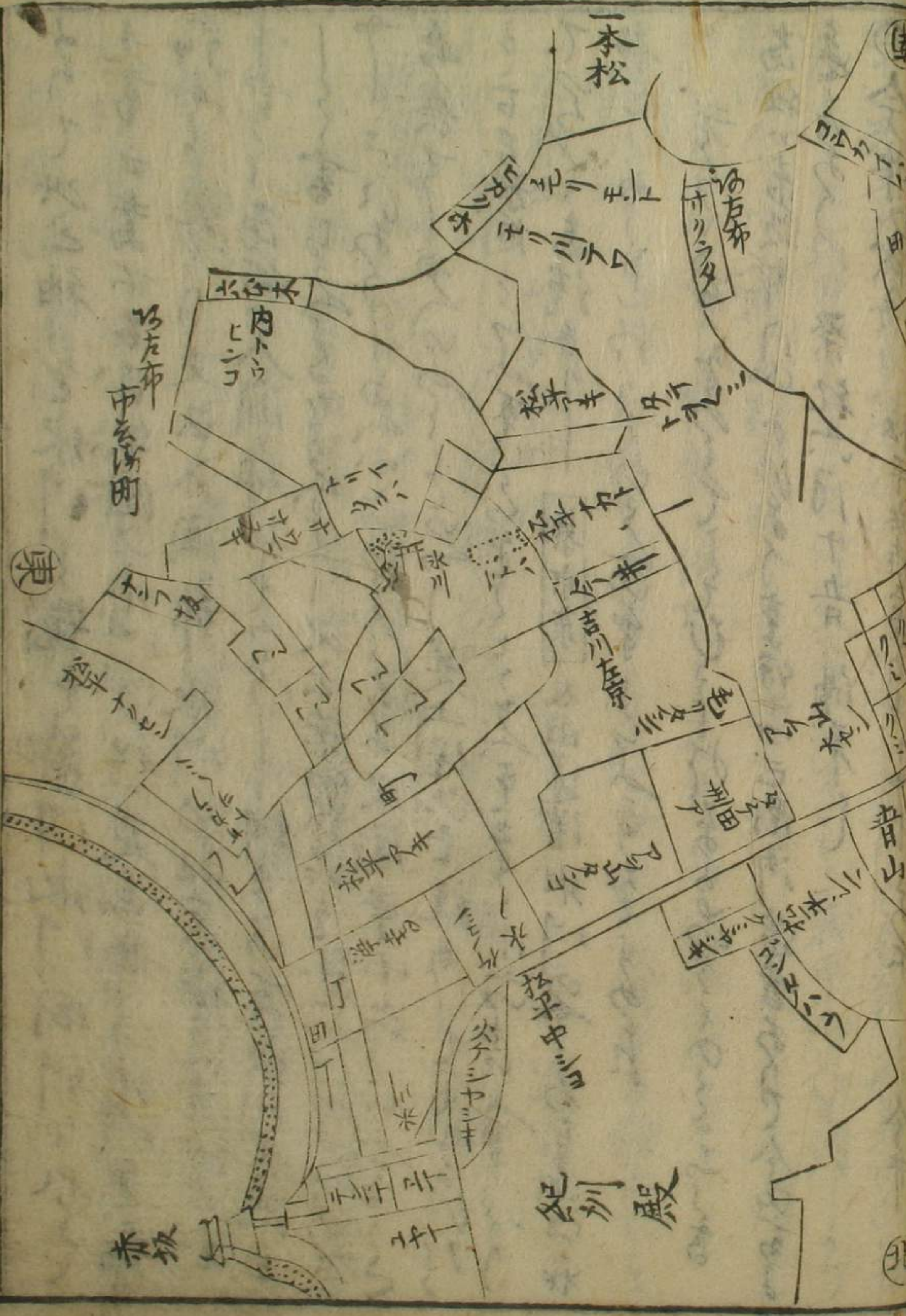
氷川とて中一なる高所多し是氷川の園一宮カ

下は勧誘する云是之部一宮氷川社也高所乃

一宮とし孝昭天皇三年戊辰冬新素戔嗚大己貴寄稻

田比咩云云云云云云云云云云云云云云云云云云

とあり此神出雲國鞆郡上とて大蛇を退治し



赤坂
青山
渋谷
方角

世田ヶ谷道

沼澤園

東

西

北

よりて此之神を氷川と號し難川氷川同列なれども
 夫書云古高木呂故國の氷川の社は是之部の氷川を勸
 引とて祀せり又云入間部氷川の社天勝元年の事大
 とあり南入間部とあり何れの所の氷川と混合
 一々書らるるなるなり又云赤坂の氷川小川とあり
 中一さいあり一更小六の氷川又同東小川とあり
 再興とあり一更とあり是土俗の亡魂也とあり
 と古呂故國とあり系の氷川とあり小川とあり
 てあり一更とあり一更とあり
 秋とあり一更とあり一更とあり

老らるる所ありとあり一更とあり一更とあり

高社の赤坂門の氷川あり享保十四己酉河津造言ありて今あり
 是なるあり 祭礼六月十日 備前

○今井の機油 松平無頼多事なる中一更の氷 今井

田子先生我賢の多摩部にあり悪源太我平と合戦の時我賢の生
 のゆくと云我賢の本曾我仲父為義の子と云我平の父と討つ
 悪源太と云又折友別高成今井無平の機油と云今井と云西を
 と無平と云かりと云一更が信せし長井の今の湯治の事と云

○鱧の井 太河のありは流るる水とあり大寺の鱧ありと

○赤根山 紀列湯中や一更の氷を云今云紀列湯の氷と云

○就島御門 紀列湯中や一更の氷と云

○茶礮坂 松平九層坂と云一更の氷あり青らるる所の坂と

○何巻坂 ちやげん坂と云一更の氷ありと云ねねの巻坂と云

○河合坂 今井村ありと云坂と云二更の坂と云

○南都坂 谷所より赤坂と云坂と云

○権太原 じしー 権太原馬場所として人住居の地と云

○青山 青山大徳免取所とありじしーの二向子とある所を云

○勢の井 大月寺の池ありけり水なるに空観法師

加持しちりよたらまらたれとありて今にいつのころと云

○掃除坂 大月寺のありしと云

○飛龍神社 寺ありし所にあり

○笠ヶ尾 大月寺のありしと云

○御嶽社 百人所のありし

○熊野大権現 系名 別當三光山淨性院

紀伊三山勸修 青山の徳あり 祭礼九月廿一日

本宮新宮那智これと徳野との中と云 祭神伊弉册尊

早玉之男奉解く男三神し日本紀伊弉册尊生次神時

被灼而神退去矣故葬於紀伊国熊野之有馬村

○長者丸 百人町八南 じしーの金子徳谷長者と云

代々種々を金王丸と云徳谷の赤孫なりと云その頃白根村の白雲

長者といふありと云これと云て黄金の長者といふと云し鷹安の

ころまともありと云と云その子孫らと云と云と云と云と云

はくしと云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

○鉤匙橋 かのき 大月寺の経基橋と云

此川ありしと云龍川と云大河なり 万暦二年平頼門の軍良望

を殺し下総相馬郡石井の間に四裏を渡る六孫王経基の武彦

の叔父郡あり将門羽書をして相馬へ振くとの謀を云と云と

下総あり相馬ありと云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云と云

その并。親王院よりわたりしは親王院の渋谷東福寺に於てあり
かのりし心介に東福寺あり又古く物成子に親長寺乃
子根王丸と云ふの史令の記に古く殿と記著のりあり堂宇の記し

○浄土宗 佛閣

○平河山源照院淨土寺 増上末 寺中 孝順院 雲洞院 新坂町

用之教養聖公大 寺中 孝順院 雲洞院

高寺の沙汰内平河口よりあり又龜之寺高寺と云ふ

○一竹之寺浄土寺 増上末 寺中 ○日照之清叢寺 智恵末 一本

○川勝之清浄寺 日未 日 ○信康之竜泉寺 日未 日

○法性之善学寺 日未 今井 ○寂照之高徳寺 日未 晋山

○長昔山宝樹寺梅窓院 智恵末 晋山

岡山觀智国師 寛永年中起立 現住在順善寺唯然和尚

本之阿弥院 聖徳太子の作 之社告あり殿刻あり三社代り云

△恭平觀音 佛閣 國傳外の源原に於て八幡太郎義家公乃

也佛なり陳上の瑞光寺にありしを移してあり今も寺瑞

多し難産戒の厄除乃其を祈るにありしを移してあり

△撰地藏 慈光大町の作し唯然和尚中にて感得あり

△羅漢堂 叙也十六の漢乃像二十あり云

△而濟橋荷 享保の何れあり和必而濟より縁山一下の僧子

從して極意精舎に結成ありて永く之を遺せんとししを

一社造之あり衆人法を以て祈るにありしを遺せんとししを

入隣の民にありしを遺せんとししを

△拾橋 才二世爲卷人門を以て苗成と移してありしを

今もありしを祈るにありしを遺せんとししを

留主に居る人へひらく人記さる

岸村涼宇

△惣門 長昔山の親長禪院山神作の事し

○南命山善史寺 信列善史寺の宿寺 尾寺し 晋山

本之祖師中将非孫佛し中ね娘の康を記し云あり 寺願五石

と為すの谷中にあり室永のころありしを移してありしを

と為すの谷中にありしを移してありしを

と為すの谷中にありしを移してありしを

○禪宗 佛圖

○靈鳳山隆德寺

大徳寺末 塔院 松漢院 栢樹院 在坂

開山東光智灯禪師

△醫王水 靈井 あり あり あり あり

○竜徳山松泉寺

妙栄 在坂 ○万運山陽泉寺 保也末 今井

○彌荷山香通院

日未 日 ○花岳山法音寺 泉岳末 日

○玉定寺

青松末 音山 ○法臺山大宗寺 甲別 大宗末 日

○微歎山実相寺

月桂末 日 ○龜谷寺 全慶末 日

○青山海藏寺

美榮末 音山 ○波多山音原寺 龜橋末 音山

開山空洲和尚

中興密山和尚 唐書一切經高寺より出

○普陀山長谷寺

曹洞宗林 大中寺末 明化寮より あり

開山門菴宗圓和尚

天正十二年海池のより あり あり あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

△寺野 花の大木あり 根より二尺たり 寺の 枝葉河方より あり あり

○竹園山教覚院 城嶽寺末 音山
△心見觀音 聖陸太子の作 石段ありあり

○専福寺 栗 在坂 ○光園山乃教寺 東末 在坂
○清涼山光永寺 日 日 ○方廣寺 日 日
○法雲寺 日 日 ○多福寺 日 日
○今井山妙福寺 日 日 ○報土寺 日 日
○妙祐寺 日 日 ○中根山明福寺 日 日
○谷量山園林寺 日 日

○佛智山園通寺 王沢末 在坂 ○速栄山持法寺 在成末 音山
○清水山常玄寺 慶平末 日 日 ○蓮光山妙園寺 小湊末 日 日

○法花宗 一庫をこく古佛をこく ありあり ありあり
○秋寺山梅原寺 開山連上人 在成末 音山

○天台宗 ありあり ありあり ありあり ありあり

○普賢山長谷寺 曹洞宗林 大中寺末 明化寮より あり

○微歎山実相寺 月桂末 日 ○龜谷寺 全慶末 日

○青山海藏寺 美榮末 音山 ○波多山音原寺 龜橋末 音山

○彌荷山香通院 日未 日 ○花岳山法音寺 泉岳末 日

○玉定寺 青松末 音山 ○法臺山大宗寺 甲別 大宗末 日

○竜徳山松泉寺 妙栄 在坂 ○万運山陽泉寺 保也末 今井

○靈鳳山隆德寺 大徳寺末 塔院 松漢院 栢樹院 在坂

開山東光智灯禪師 △醫王水 靈井 あり あり あり あり

澁谷八幡宮



○澁谷八幡宮

澁谷 天台 別當澁谷山東福寺

康平六年村岡五郎良文の曾孫川崎土佐基成が清水八幡宮
 勧誘あり瑞子平三室が金王丸にあり代々鎮座す金王丸より
 村をわたりて女澁谷を氏としむす大杉めし矢盛庄七郎の
 社土神なり謂所七郎の澁谷代々木赤坂飯倉麻布
 一木 今井 小寺の者ふ澁谷に他なるものあり今更の澁谷之
 用公園鎮僧正頼和元年宋千時百十歳 現住三十九世宋徳大園園主
 △正八幡の神祖弘法の心 應神帝の尊孫なり
 △月輪乃御旗 神正躰より九丈許なる事あり
 沙羅の長元五年源頼信が東大寺退治の河原より八旗の旗
 鶴岡寺の御旗日月二流の村岡氏基にありしが義家貞興列任の時
 此二流をくく月の御旗の南よりくくして八幡とありし徳方の始
 △子安業所 行基の心 源義朝の古佛也
 △天拾観音 唐佛 澁谷金王丸古佛也
 △金王丸の傳 藏衣二刀を帯 自外へて云 金王丸金剛殿又明王の

本流くく推名を金王と云是上下のきさし平治元年二月渋谷冠者
常夫と号し保元乱の後道世とて死まじりてし

○金王橋 境内にあり びしりのふい憂志橋と云

久壽年申年辰朔餘命皇女之館と云し憂志橋を金王
丸に流し世世渋谷にそそりて法善八幡女が死のゆゑにうむ
の月このころ黄令長老といふあり渋谷氏の末葉とて疫病の亂あり
神託ありて此其本の奇特とて病勢をのる今にまであつてし

〔紫一本〕

紀列養珠院様此さうの實を渋谷をよめをそとてし

さうりくむもささやうの渋谷のさうりくむさうりくむをさうりくむ
やうし中川の土渋谷善入と云ふ人の金王丸の子孫と云ふし
して今その元来のさうりくむとしておまけぬさうりくむをさうりくむ
實さうりくむのありゆる人の御さうりくむの子孫のさうりくむのさうりくむ
いささうりくむとて世さうりくむを賜ふ善入殿といふこと則橋
を今のさうりくむとておまけぬさうりくむのさうりくむをさうりくむとて
共乃白ひや一丸の伝地録 菊田梅五

△鎮座八松 境内あり 大永元年三月十三日小條氏領とて移相無

る輪の系いしとて小條氏領の後津大倉八宗善清小松をさうりくむ
渋谷(とて)入放たを町とて傳此ねのさうりくむとて傳さうりくむのさうりくむ
かゝるありこのねの親は古三十一株の跡をさうりくむとてそのさうりくむの
に六株あり縁の云とてさうりくむとて二二株ありとてし

○誕生池 八幡より西なり此亦金王誕生池なり

○金王城跡 此も八幡の西の地的ゆゑに傳染世に云

今にあり古井あり 渋谷代々の地也といふ

○河崎庄司次郎館 此も八幡の西の地的ゆゑに傳染世に云

いふいふ大場藩世ありとて此を河崎庄司次郎の遺論の事ありて六つ
の河崎へいひしやふの社はありとて此もその河崎とて今猶存はあり

○狩尾平次左衛門光宗館 此も八幡の西の地的ゆゑに傳染世に云
今にのこる光宗の館なり小池あり早魁の洞とて傳染世に云
ありしは八幡の西の地的ゆゑに傳染世に云とて此もその河崎とて今猶存はあり
板ありとてその安達なりとて此もその河崎とて今猶存はあり

○甘露水 ありきし 天慶二年一孫王經基あり跡あり

○玉池 此井涌沸するより水より一掃一を汲み給に玉を玉を玉の玉

○休候の塚 一石去我若塚 百人所の豊田村原塚あり

○古通 鎌倉の代の海乃として古の塚の下にたのこの

○神仙水 八幡の池 むじき 霊体仙人は谷にあり不老長生の

○朝秀滝 沢谷 けいけい けいけい けいけい けいけい

○鵜谷 大のびのいけい 法道徳の神けいけい けいけい

○氷川社 渋谷川 天台 別當惠日山宝永寺某王院

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

○道玄坂 志之より世田谷へひたしけいけい けいけい

公賊を懲坂の都ひしなむた和南なる由今もその名をま

○道玄物忌の松 日本にも濃列懲坂の都ひしなむた和南なる由今もその名をま

○馬牽次 日本にも濃列懲坂の都ひしなむた和南なる由今もその名をま

文治四年源朝真列泰衡征伐の所洗谷八幡子赤松あり

在系流のて東降吉色ひる蹟よりを標志一八幡子赤松あり

ひるその名を馬に引よと云ふなりけり体は赤松を標志の赤松

○常盤松 せむの入口小みまをひるまきと云ふなりけり

ひる吉良氏の妻と云ふは洗谷のあり密通の事ありとて

いひて吉良氏の妻と云ふは洗谷のあり密通の事ありとて

いひて吉良氏の妻と云ふは洗谷のあり密通の事ありとて

いひて吉良氏の妻と云ふは洗谷のあり密通の事ありとて

いひて吉良氏の妻と云ふは洗谷のあり密通の事ありとて

○世田ヶ谷 在系郡に世田ヶ谷の所なり

吉良正太十五万石の所の所なり世田ヶ谷の所なり

○九品佛 九品山唯在念佛院淨真寺 世田ヶ谷真次郎

九品佛一軀くはるる各座係丈六 釈迦の像後丈六の佛

凡一万百十軀あり 各座係丈六 釈迦の像後丈六の佛

一十一軀よの余佛係凡三万二千軀し

河内郡和南の武列の人姓の野村氏なり元和四年正月朔日

十八歳のて生實の大巖寺に令 随流上人の門下河内郡の

寺に在り 寛永十三年河内郡和南靈巖寺に令流 入十時寺に

世に在り 此河内郡の寺に在り 入十時寺に 東の海瀕

に在り 河内郡の寺に在り 入十時寺に 東の海瀕

日夜心力を在り 本堂方丈のありし門庭以下期年い

し 功を在り 其法の世に在りし師 一日に之を

此多かりて 遺傳の費も充つ 寛文四年に丈六の一軀を成

就は 七年以上中下品の九幡 全く充足せり 列

釈迦佛丈六の像を造り、具嚴の地に造り、志々々々、一々法、
波の如く、佛像の如く、海中に漂ひ、此時珂碩、打ち、
載列はあり、これを穿り、乳んを奪、一乳んを奪、切なり、
久し、佛像の、

延宝六年、真沢の御民、招き、まろく、此世を、千時師、
六十二歳、此世甚困寂く、如く、この、かろひ、統意の世、
後九品の信を、具嚴寺、まろく、一、單堂、各、
延宝八年、八月、大風、まろく、單堂倒、佛像、ヤ、毀、
昨、又、これを、修補、に、元禄七年、十月、七日、入寂、

○大溪山豪徳寺

禅宗

在、京、近、世、田、谷

岡山馬堂昌善、禪師、中興、同、解、其、同、禪師、再、中興、大、松、秀、道、禪師、
文明十二年、庚子、豪徳院、開基、と、い、言、良、正、忠、乃、伽、母、り、り、則、
尚、寺、に、墓、あり、

四之巻軸

Handwritten notes in cursive script (sōsho) covering the entire left page, including a large circular seal at the bottom left.

